

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : OM イレザー
会社名 : 大村塗料株式会社
住所 : 鳥取県鳥取市千代水3丁目87
担当部門 : 研究開発室
電話番号 : 0857-28-7881
FAX番号 : 0857-28-7716
緊急連絡先 : 0857-28-7881
推奨用途及び使用上の制限 : 洗浄剤
整理番号 : OM-I

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 未分類

健康に関する有害性 :

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2 重篤な眼への刺激
生殖毒性 区分2 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

ラベル要素 絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

注意書き :

安全対策 ; 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱中は、皮膚に触れない様に注意し、保護眼鏡（ゴーグル型）、保護手袋、保護マスク、保護衣などの適切な個人用保護具を着用すること。

救急措置 ;

吸入した場合は、被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けさせること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合は、吐かせず、口をすすぎ、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗い、医師の診断/手当てを受けること。

皮膚または髪に付着した時は多量の水と石鹸で洗い、衣類が汚染された時は直ちに全てを取り除いて下さい。

皮膚刺激が生じた時は、医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類は直ちに脱ぎ、廃棄すること。

暴露または暴露の懸念がある時は、医師の診断/手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

保管 ; 容器を密栓し、直射日光を避け、熱源から離れた換気の良い場所で、施錠して保管すること。

廃棄 ; 内容物/容器等の製品付着物は関係法令に従って廃棄すること。

救急措置 ;

吸入した場合は、被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けさせること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合は、水を飲ませて吐き出させる。症状により医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗い、医師の診断/手当てを受けること。

皮膚または髪に付着した時は流水又は石鹼で良く洗う。
 皮膚刺激が生じた時は、医師の診断／手当てを受けること。
 保管；容器を密栓し、直射日光を避け、室内冷暗所に保管すること。
 廃棄；内容物／容器等の製品付着物は関係法令に従って廃棄すること。

3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	CAS No.	含有量	PRTR 該当物質
エステル系溶剤	-	50～60%	該当せず
テルペン系溶剤	138-86-3	1～5%	該当せず
水	7732-18-5	1～10%	該当せず
非イオン系界面活性剤	68439-51-0	10～20%	該当せず
無機粉末	93763-70-3	20～30%	該当せず

4. 応急措置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡をとりその指示に従う。

[吸入した場合] 被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けさせること。呼吸に関する症状が出た場合には医師の診断／手当てを受けること。

[眼に入った場合] 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。できるだけ速く医師の診断を受ける。

[皮膚に付着した場合] 流水又は石鹼を用いて良く洗浄すること。

[飲み込んだ場合] 誤って飲み込んだ場合には、水を飲ませて吐き出させる。症状により医師の診断を受ける。

[応急措置をする者の保護] 救急者は、保護具を着用する（暴露防止措置の注意事項を参照）。

[医師に対する特別注意事項] 直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項またはSDSを示す。

5. 火災時の措置

消火剤：泡、二酸化炭素、粉末

特定の消火方法：周辺火災の場合；移動可能な場合、容器、梱包および周辺に散水し冷却する。
 着火した場合；火元（燃焼源）を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。

消火を行う者の保護：火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具（送気マスク、自給式呼吸器等）を着用する。

6. 漏出時の措置

関係法令に準拠して作業する。

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：

作業者は保護具（暴露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、風上で作業する。

屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。

漏出した場所の周辺にはロープを貼る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項：漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。

除去方法：

回収；漏出物は密閉可能な容器にできる限り集める。その後、水で洗い流す。回収する時は、火花の出ない器具を用いること。

廃棄；回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。

二次災害防止策：付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

火気厳禁

漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

関係法規に準拠して作業する。

取り扱い：容器は注意して取り扱い、開ける。

使用時には飲食しない。

眼との接触を避ける。

眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。

皮膚と接触した場合は、多量の水または石鹼水で洗う。

技術的対策：周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

取り扱い後は手洗いを十分に行う。

保管：直射日光の当たらない屋内で保管する。

熱から離して保管する。

着火源から離して保管する（禁煙）。

容器を密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度：情報なし

保護具：呼吸器の保護具；特に必要なし

手の保護具；特に必要なし

目の保護具；特に必要なし

皮膚及び身体の保護具；特に必要なし

9. 物理的及び化学的性質

製品として：

形状；湿り気のある粉末

色；淡白褐色

臭い；特異臭

引火点；不明

溶解性；水で洗い流せるが無機粉末は水に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の保管及び取り扱いの条件では安定と考えられる。

反応性：知見なし

危険有害な分解生成物：知見なし

11. 有害性情報

情報なし

12. 環境影響情報

製品として：

生体蓄積性；情報なし

13. 廃棄上の注意

この製品及び容器・包装材は安全な方法で廃棄しなければならない。

残余廃棄物：本製品は環境中に放出してはならない。

本製品は排水溝中に空けてはならない。

内部処理の場合： 法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。

外部委託処理の場合：産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして処理を委託する。

1 4．輸送上の注意

国連分類：なし

国連番号：なし

指針番号：なし

安全対策：保護具を携帯する。

容器に漏れのないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実に行う。

1 5．適用法令

消防法：該当しない。

労働安全衛生法：該当しない。

毒物及び劇物取締法：該当しない。

労働基準法：該当しない。

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：該当しない。

1 6．その他

本データシートは、一般的な工業的用途について「製品の適切な取り扱い」を確保するための参考情報として提供するものであり、製造者の保証書ではありません。現時点で信頼し得ると考えられる資料並びに測定等に基づき作成したものです。ご需要家各位は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切な措置をお取り下さる様お願い致します。

参考文献

日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」

オム社：溶剤ポケットブック

危険防災救急便覧

国際化学物質安全カード（ICSC）

丸善：ガソックス有害物質データブック

中央労働災害防止協会：化学物質の危険・有害便覧

原料メーカー MSDS

ACGIH：Threshold Limit Values for Chemical substances and Physical Agents